

障害あり

障害なし



- 大学等で発達障害など“見えない”障害のある学生が増加
- 平成28年度 障害者差別解消法施行によるコンプライアンスの要請
- 大学教職員は発達障害学生への合理的配慮の提供や学生対応において試行錯誤している現状
- 障害の境界が不明瞭で対応に苦慮

- 発達障害は定型発達からの連続体（スペクトラム）
- 学生の多様な発達特性を考慮した授業設計や学生対応に関する知識・技術が必要
- 管理職を中心に組織的対応に関する知識・技術が必要



発達障害学生支援に関するFD/SD研修会の開催

- FD/SD研修会での知識・技術の提供
発達障害学生支援に関する幅広い内容のFD/SD研修会の開催
- e-learning型研修コンテンツ
遠方から時間を問わず参加可能なe-learning形式での研修コンテンツ



発達障害学生支援に関する各種講習会への講師依頼対応

- 演習形式の研修プログラム
支援技術、学生対応事例検討などの演習形式の研修プログラムの実施
- 各大学の体制整備に貢献
各大学への講師派遣によりコンセンサスの取れた体制整備へ



発達障害学生支援に関する相談対応

- リアルな支援実践に基づく相談対応
支援実践経験を有するスタッフが、他大学の教職員からの相談に個別対応
- 相談ネットワーク構築
ウェブによる遠隔相談にも対応
気軽に相談できるネットワークを構築



発達障害学生支援に有効なデータベース構築と配信

- 支援情報データベースの整備
発達障害傾向の学生に有効な支援情報データベースを整備
- 各大学の学生への間接的な支援
各大学の在籍学生に対する支援情報配信による自助スキルの向上

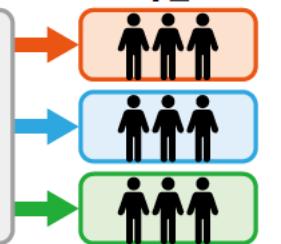
筑波大学
DACセンター
教育関係
共同利用拠点



全国の大学教職員に対するFD/SD研修や相談対応により
発達障害(特性)に関する各大学教職員の知識・技術を向上
各大学で使えるリソースとして支援情報データベースを提供



各大学教職員が研修等で身につけた知識・技術をもとに
支援情報データベースを活用して各大学の
学生支援の質を向上



発達障害を含む、さまざまな特性をもった学生が 豊かな学生生活を送れるようにするための研究・実践プロジェクト

ラーニングサポートブック(LSB)



支援情報配信サービス

「ラーニングサポートブック(LSB)」は、発達障害の診断や傾向のある学生に役立ったツールやテクニックなどの支援技術(AT)を掲載したWEBサービスです

LSBは筑波大学のピア・チューター(支援学生)が作成し、「障害」のラベルを用いらず「ニーズ」表記で示しています

LSBは全国の大学等にも配信を行っています



他大学等への普及・展開

発達障害学生支援に関する調査・研究・開発

筑波大学内での支援実践

発達障害啓発マンガ



「発達障害啓発マンガ」は、発達障害当事者の職員が発達障害の特性や生活上の困難について分かりやすくまとめたマンガです

著作権放棄(CC0 1.0)をしているので自由に複製・印刷・再配布・改変などできます

WEBサイトから誰でも画像・PDFダウンロードが可能です



教職員相談ネットワーク(RADDネット)



「教職員相談ネットワーク(RADDネット)」は、大学等の垣根を超えた発達障害学生支援に関する教職員間の支援ノウハウの共有を行うクローズ型SNSです

多様な専門家による発達障害学生支援のe-learningのほか、学生の仮想事例検討や情報交換/相談に活用できます

大学等の教職員は誰でも参加できます



筑波大学 DAC センター
発達障害学生支援
プロジェクト

Reasonable Accommodation for Developmental Disabilities

他にも、様々な研究・実践活動を行っています
ご関心のある方はぜひ、ご確認ください！

<https://dac.tsukuba.ac.jp/radd/>

